熊谷市
記者クラブ取材情報

令和3年10月22日発表
担当課:市民部安心安全課

タイトル

「空き家の除却促進に係る連携協定」締結式

1．日時　令和３年１０月２５日（月）　１４時００分

2．場所　熊谷市役所 議会棟 第１委員会室

3．事業概要

【目的】
熊谷市は、株式会社クラッソーネ（愛知県名古屋市、代表取締役：川口哲平氏）及び株式会社武蔵野銀行（埼玉県さいたま市、取締役頭取：長堀 和正氏）と、３者による「空き家除却促進に係る連携協定」を締結し、管理不全な空き家の発生防止に関する取り組みを開始いたします。

【経緯】
熊谷市において「空き家問題」が年を追うごとに深刻化する中、平成30年に総務省が実施した住宅・土地統計調査では、市内に5,090戸の空き家が存在するとされております。
このような状況の中、平成28年に本市と「地方創生に係る包括的連携に関する協定」を締結している株式会社武蔵野銀行から、株式会社クラッソーネを御紹介いただき、３者が連携・協力することで市内の管理不全空き家の発生防止に関する対策を推進するため、詳細協議を経て、連携協定の締結に至りました。

【協定内容】
株式会社クラッソーネが提供する解体工事費の概算見積もりWebサービスや株式会社武蔵野銀行が提供する「空き家活用ローン」などによる資金面のサポートについて空き家所有者の方に情報提供することを始め、チラシの配布やホームページによる情報発信を行うなど、三者それぞれが持つサービスやノウハウを本市の空き家対策に活用することで、管理不全空き家の除却の促進を図ります。

【効果】
空き家の解体を躊躇している所有者に対して、AIが算出した解体費用の概算や解体ローン等による資金面のサポートを提供することで、所有者による計画的な解体に資するものと思われます。
また、所有者による空き家の除却が促され、管理不全状態の空き家の発生予防に寄与することが見込まれます。

4．特徴やPRポイント

・解体工事費の概算見積もりWebサービスについて、利用者に費用負担は発生しません。
・県内で同種の連携協定を締結している自治体はなく、初事例となります。

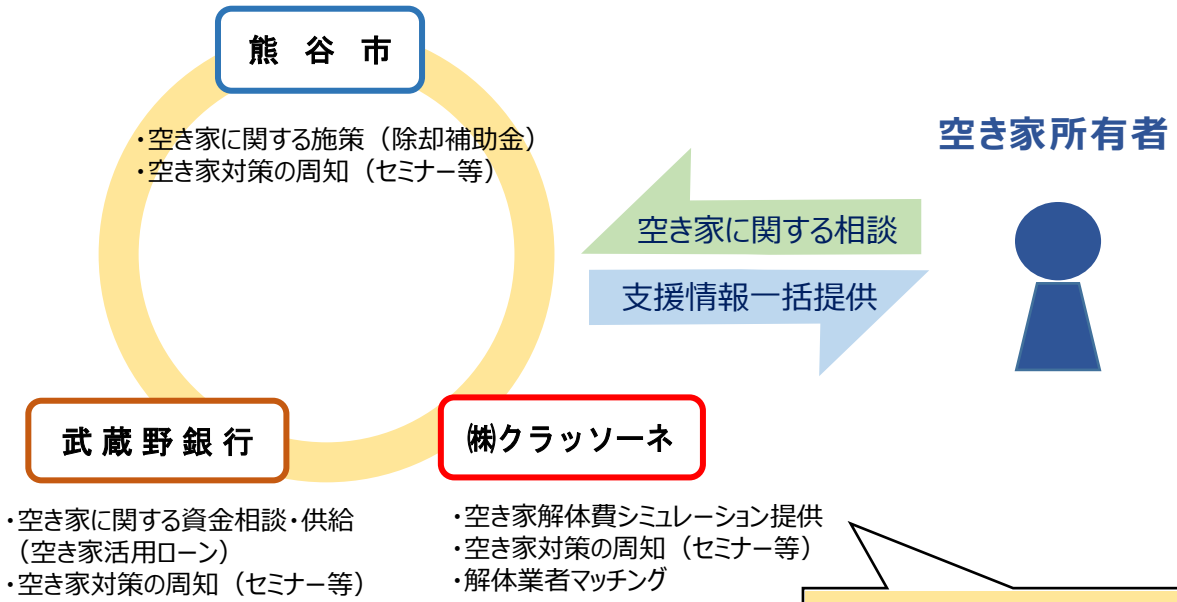
5．その他

締結式出席予定者
①熊谷市長　富岡清
②株式会社クラッソーネ　代表取締役/CEO　川口哲平 氏
③株式会社武蔵野銀行　常務執行役員　齊藤政春　氏

※ 資料の有無（　有　）

担当者　市民部安心安全課　空家対策係　長澤
連絡先　048-524-1111　内線332

3者連携イメージ



解体費シミュレーション結果
（イメージ）

予想される解体費用の地域相場
1,500,000 円～2,000,000 円 程度

内訳の例・総額 1,805,000 の場合

建物の上物解体：	1,500,000 円
ブロック塀：	150,000 円
カーポート：	25,000 円
樹木：	40,000 円
不用品：	90,000 円

■会社概要

＜株式会社武蔵野銀行＞

所在地　：埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目 10 番地 8
代表者　：取締役頭取　長堀　和正　氏
設立　　：1952 年 3 月 6 日
URL　　：http://www.musashinobank.co.jp/
事業内容：銀行業
　平成 28 年に地方創生の実現に向けて、熊谷市と「地方創生に係る包括的連携に関する協定」を締結。また空き家の改築・改装・解体費用や土地利活用などの費用に利用可能な「空き家活用ローン」を取り扱う。

＜㈱クラッソーネ＞

本　社：愛知県名古屋市中村区名駅 5 丁目 7 番 30 号　名駅東ビル 4Ｆ
代表者：代表取締役 CEO　川口哲平　氏
設　立：2011 年 4 月 1 日
資本金：952,985,520 円（資本準備金含）
ＵＲＬ：http://www.crassone.co.jp
事業内容：解体工事と外構工事領域で、全国約 3,000 社の専門工事会社と施主をマッチングする一括見積もりＷｅｂサービス「クラッソーネ」「クラッソーネエクステリア」を運営。
　またＡＩによる解体費用シミュレータ活用促進事業が、国土交通省「令和 3 年度住宅市場を活用した空き家対策モデル事業」に採択。